

第8回「One Company, One Athlete」

3月27日開催

トップ・アスリートのための 支援・雇用に向けた 企業説明会



日本オリンピック委員会(JOC)のトップ・アスリートの就職支援ナビゲーション「アスナビ」では、2010年に経済同友会で開催して以来、104社／団体150人の採用実績(3月27日現在)を挙げることができた。第8回となる本会での説明会では、東京オリンピックなど、今後の国際大会等での活躍を目指して企業への就職を希望する7人のアスリートがプレゼンテーションを行った。

採用実績
事例紹介
久慈設計

会社の注目度アップに貢献し 社員の仕事への意欲を高める効果も

一般の就職希望者と同様に、トップ・アスリートも、多くが大手企業に入社することを希望する。しかし、都会の大手企業でなくても、選手をサポートしたいと考えている会社はある。

岩手県盛岡市に本社がある久慈設計は、主に学校や保育園、シティホールなどの公共物の設計をしている社員100人未満の小さな会社だが、アスナビを通じてオリンピック選手を受け入れることになった。

「当社は、2013年12月にアスナビを通じて、北海道の高校に通う、まだアイスホッケー強化選手であった小西あかねに内定を出しました。すると間もなく、ソチオリンピックアイスホッケー女子日本代表の出場選手発表があり、

小西が日本代表選手に選ばれたのです。オリンピック選手が入社することに、社員一同が喜びました」と、久慈竜也取締役社長は語る。

小西選手の採用については、岩手県の中小企業がオリンピック選手を採用し応援しているということで、地元新聞の他、全国紙にも掲載され、同社の注目度アップに大きく貢献したようだ。

また、小西選手を紹介する「あかねだより」という広報誌を発行し、顧客である地方公共団体などに配布している。その際、同社が小西選手の肖像権を1万円で買い取り、通常の給与に加えているという。しかし、それ以外の試合の遠征費や用具代などは支給していない。



取締役社長
久慈 竜也 氏

アイスホッケー女子日本代表は2018年平昌オリンピック出場を決めており、会社にオリンピック選手が在籍していることで、社員が自分も頑張ろうという気持ちになり、仕事への意欲を高める効果もある。

なお、同社では、小西選手が引退した際に、北海道に帰郷するなら退職はやむなしだが、指導者として岩手にとどまるなら、何らかの形で支えていきたいと考えている。



太田 雄貴 氏
フェンシング
北京オリンピック
銀メダリスト

応援メッセージ

一つのことをやり遂げた人間は、次の場所でも頑張れる

私は北京オリンピックでメダルを取った後、競技一筋でいくか、仕事をしながら競技を続け、次を目指すかの選択を迫られました。結局、今所属している森永製菓に入社しましたが、その経験からも生活が安定した方が競技に集中できると実感しています。

企業がアスリートを採用する場合、私は広告塔として採用することはあまり勧めません。それより、選手がそ

の商品を使っていたとか、作る際に助言したというエピソードを営業に活かした方が、商品の品質に真実味が増し、バイヤーや消費者が興味を示すものです。

一つのことをやり遂げた人間は、必ず次の場所でも頑張るでしょう。そしてアスリートの存在は、会社を元気にする手本になるはず。「スポーツっていいな」と皆に思ってもらえるよう、選手は頑張る姿を見せてください。

トップ・アスリートによる プレゼンテーション

※経歴は3月27日現在

山本 智貴 (新卒24歳)

陸上競技／棒高跳び
2015年日本陸上競技選手権大会
5位

私の強みは、小さなことをコツコツ積み重ねながら目標達成に向けて努力することです。これはスポーツだけでなく、社会で結果を出すためにも必要なスキルだと思いますので、採用いただけたら、会社に貢献できると考えています。



毛呂 泰紘 (新卒22歳)

陸上競技／走り幅跳び
2016年日本陸上競技選手権大会
5位

私は、高校時代に先生や友人との会話の中で知識を増やし、それを活かして競技での困難を乗り越えてきました。自分の強みは、そのコミュニケーション能力を活かし、成長することです。これは企業で仕事をする上でも強みになると思います。



杉原 賞紀 (新卒22歳)

トライアスロン
2016年アジアU23トライアスロン
選手権大会 2位

トライアスロン競技を始めて8年になりました。東京オリンピックでは、男子初の入賞が目標です。夢に向かって挑戦する姿を間近に感じてもらい、互いに刺激し合う仲間として、企業の皆さんに受け入れていただきたいと思っています。



松下 翼 (新卒25歳)

自転車競技／BMX
2016年アジア選手権大会
3位

BMX競技は、専用の自転車で順位を競います。私は5歳でこの競技を始め、目標を持ち、最後までやり続けることを学びました。今後は競技で培ったものに社会経験をプラスして、東京オリンピックでメダルをつかみたいのです。



板倉 玄京 (新卒21歳)

自転車競技／トラック
2016年全日本自転車競技選手権
大会チームスプリント 3位

私は自転車の強豪である明治大学に入り、有力選手の走り方を研究し、成果を上げ、ナショナルチームにも入りました。大学では副主将を務め、全体を見渡して運営し、実績も上げてきました。このことは会社の仕事にも通じると 생각합니다。



石川 拳大 (新卒22歳)

サーフィン
2015年全日本サーフィン選手権
大会 優勝

大学に入学して企業アスリートの存在を知りました。サーフィンの世界でも企業アスリートのシステムが必要だと感じています。自分がサーフィンで世界初の企業アスリートになり、日本人でも世界で活躍できることを証明したいと思っています。



鈴木 世奈 (既卒25歳)

アイスホッケー
2017年平昌オリンピック 女子最終
予選 1位 (オリンピック出場権獲得)

企業に所属してプレーすることになれば、成長し続ける姿勢を大切にし、社内に新しい活力を生み出せるよう、何事も恐れず取り組んでいきます。平昌オリンピックでは社員の代表として出場し、歴史をつくり、日本を盛り上げていきます。



アスナビについてのお問い合わせ先

JOCキャリアアカデミー

■ e-mail : career@joc.or.jp ■ TEL : 03-5963-0354

※電話受付時間は平日の午前10時から午後6時まで